

研究テーマ「就学前機関と連携した発達障害児への支援」

1 研究目的

発達障害児を対象とした幼児教室（「エイルくらぶ」）を機軸とした発達障害児の就学前支援や、就学前機関と連携の在り方を検討する。

2 研究仮説

発達障害児を対象とした幼児教室における支援方法を他の就学前機関と共有することで、就学前の連携及び就学後のスムーズな移行につながるのではないかと仮定する。

3 研究方法

- ① 発達障害児を対象とした幼児教室の実施
- ② 通所療育施設や幼稚園職員を対象とした幼児教室の見学やプログラム紹介などの研修の実施
- ③ 対象児の通所療育施設、幼稚園への巡回相談の実施
- ④ 対象児の通所療育施設、幼稚園とのケース会議の実施
- ⑤ 連携のためのツール（「つながるシート」別紙参照）の作成及び検討
- ⑥ 「つながるシート」を活用した就学先（小学校）への引継ぎ

4 研究の経過

月	研究内容等
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教室（エイルくらぶ）の実施計画立案 ・対象児のアセスメント実施（保護者聞き取り、行動観察、発達検査）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・エイルくらぶ① ・エイルくらぶの通所療育施設職員の見学
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・エイルくらぶ② ・エイルくらぶの通所療育施設職員の見学 ・対象児の幼稚園への巡回相談 ・連携のためのツール（つながるシート）の検討と作成
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・エイルくらぶ③ ・小学校への「就学前機関との連携に関するアンケート」の実施 ・連携のためのツール（つながるシート）の検討と作成 ・対象児の通所療育施設及び幼稚園への巡回相談 ・対象児の通所療育施設及び幼稚園との合同ケース会議
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児の通所療育施設及び幼稚園との合同ケース会議 ・連携のためのツール（つながるシート）の作成
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・エイルくらぶ④ ・エイルくらぶの通所療育施設職員の見学 ・特別支援教育学会自主シンポジウム「特別支援学校の就学前支援について」
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・エイルくらぶ⑤ ・エイルくらぶの通所療育施設職員の見学
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・エイルくらぶ⑥ ・エイルくらぶの通所療育施設職員の見学
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・エイルくらぶ⑦ ・エイルくらぶの通所療育施設職員の見学
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児の通所療育施設及び幼稚園との合同ケース会議
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・エイルくらぶ⑧ ・エイルくらぶの通所療育施設職員の見学 ・対象児の就学先とのケース会議
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児の就学先とのケース会議 ・幼保小連携協議会

5 研究の実際

ア 幼児教室（「エイルくらぶ」）の実施

対象児 次年度、通常学級への就学を希望している発達障害

幼児 5 名

実施回数 平成 25 年 5 月～平成 26 年 2 月 計 8 回

活動内容

① はじまりの会（あいさつ、活動内容、今日の約束、ソーシャルスキルクイズなど）

② 集団ゲーム（ボウリング、卓上ゲーム、おやつなど）

③個別学習（書字やソーシャルスキル課題など各々のニーズに応じて実施）

④自由遊び

⑤おわりの会（発表、あいさつなど）



はじまりの会



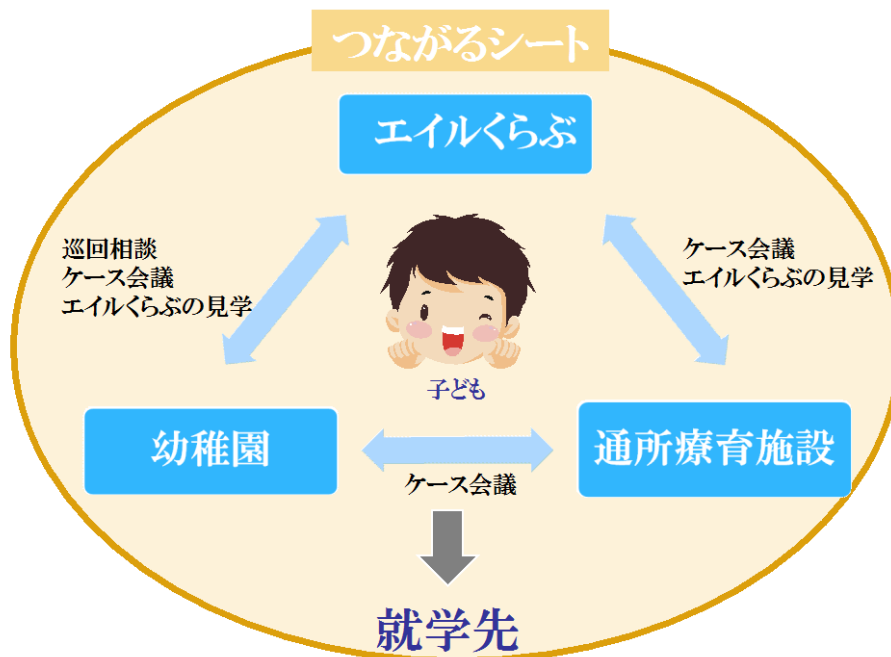
個別学習

イ 就学前機関との連携

○就学前機関の職員の「エイルくらぶ」の見学及びケース会議へ参加、年間8回実施した。

○情報交換と支援方法を共有するためのケース会議を実施し、「つながるシート」の作成につなげた。各就学前機関と年間1～2回実施した。

○「つながるシート」を活用した、就学先（小学校）との引継ぎを行った。保護者と本校の特別支援教育コーディネーターが同行し、就学先の校長先生、特別支援教育コーディネーターと対象幼児の就学後の支援について話し合った。



「つながるシート」を活用した関係機関との連携

6 研究の成果

- 幼児教室を基軸にしたことで、発達障害児の具体的な支援方法を就学前機関と共有し、就学前機関においても支援に生かすことができた。
- 本校と対象幼児の就学前機関が共に「つながるシート」を作成、共有したことで、対象幼児の就学に向けた支援について検討することができた。

7 今後の課題

- 発達障害幼児の支援を本校から、地域の療育施設、幼稚園に移行していくことを目指した連携の在り方を検討する。

Aさんのつながる(就学支援)シート



こんなことで困っています



こうすれば、大丈夫！！



○着替えなど身辺処理面で、時間内に終わらないことがあります。

○急かしたり、強い口調で指示したりすると、焦ったり、興奮してしまったりすることがあります。

○友達と遊びたいのに自分から誘えないことがあります。

○友達が気になったり、前に出て活動したい気持ちがおさえられなかったりして、離席することがあります。

○ゲーム等で負けて、悔しかったり、本人が納得できなかったりする場面で、泣いたり、興奮したりすることがあります。

○スケジュールや手順を示し、確認しながら取り組むようにします。時計が読めるので、「○時に着替え始めます。○分までです。」などアナログ時計と言葉で示すようにします。

○指示はできるだけ落ち着いた声で伝えるようにします。また、「○○するよ」と言うより「○○します」と言葉をかけた方がすんなり行動に移ることができます。

○いろいろな場面の絵を提示して、「こんなときは何て言うの?」ということを考える課題に取り組みます。実際場面でも、指導者が、間に入ってモデルを示すなどして、どう伝えればいいのか理解できるようにします。

○ 約束を決めて、絵や文字で書いて目につく場所に掲示します。約束は、具体的であり無理がないものにします。(例 ; 「先生がお話するときは、足を床につけて座ります」「○%の力で参加します。」)

○ また、順番も予め視覚的に提示して、自分の順番まで待てるように促します。役割を与えて、衝動ではなく目的をもって動けるようにします。(どうしても難しい場合には、休み時間に好きなことができるなど、個別の予定を提示します。)

○ 本人は自分で気持ちを抑えようとするので少しの時間をおき見守ります。「悔しくて物に当たってしまった」等本人から伝えてきたときは、悔しい気持ちに共感し、納得できたことをほめます。



好きなこと、得意なこと

- ・ 興味のあることについて集中して取り組む。
- ・ 数や文字で示すとよく理解できる。
- ・ ほめるときにハイタッチする。

作成日(平成26年2月3日)

*○○幼稚園 担任 ○○ ○○
TEL ××-××××

*発達障害幼児グループ「エイルくらぶ」
担当者 ○○ ○○
TEL ××-××××